



2026年12月期 第1四半期決算短信 (IFRS) (連結)

2026年5月8日

上場会社名 株式会社 CLホールディングス
 コード番号 4286 URL <https://www.clholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 内川 淳一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・管理管轄 (氏名) 野田 直樹

TEL 050-1741-5549

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績 (2026年1月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	8,311	7.9	152		122		65		128		97	
2025年12月期第1四半期	7,702	15.7	299		311		220		190		185	

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円銭		円銭	
2026年12月期第1四半期	12.02		12.01	
2025年12月期第1四半期	17.52		17.52	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	21,951		7,824		7,811		35.6	
2025年12月期	24,684		7,917		7,841		31.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2025年12月期		0.00		18.00	18.00
2026年12月期					
2026年12月期 (予想)		0.00		31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日 ~ 2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	%
通期	41,000	5.1	1,700	21.1	1,600	21.8	1,100	74.9	102.48	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	11,552,731 株	2025年12月期	11,552,731 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	819,102 株	2025年12月期	819,030 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	10,733,653 株	2025年12月期1Q	10,901,081 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料3ページ目「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年5月8日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、わが国を取り巻く環境は、中東情勢の緊迫化や日中関係の緊張等に伴う地政学リスクの高まり、資源価格の高騰による物価上昇に加え、米国の通商政策の動向や金融資本市場の変動の影響もあることから、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、「エクスペリエンス（体験価値）」と「エンターテインメント（エンタメ）」を掛け合わせた「エクス・テインメント（注1）」ビジネスを加速してまいりました。「エクス・テインメント」ビジネスとは、広告および販促のマーケティング市場、物販市場、エンタメコンテンツ市場などの既に顕在化している各種市場にまたがる領域に、PMDサービス（注2）、限定流通サービス（注3）およびテーマカフェサービス（注4）等でアプローチすることで創出した新たな市場において、エンタメ顧客体験価値をお客様にお届けするビジネスです。

グループ中期戦略としては、引き続き「グループシナジーを高めて、収益力をさらに強化する。」を掲げ、以下のポイントを重点的に進めてまいります。まず注力する事業領域を、マーケティング事業領域、ロケーションベースドエンターテインメント事業領域（注5）およびマーチャンダイジング事業領域の3つに絞り、領域運営を起点としたグループシナジーの最大化を通じて、収益力の強化を図ります。また、各事業領域においてビジネス構造の転換を図りながら、事業ポートフォリオの最適化を推し進めます。あわせて、新規事業、海外展開、M&A、人的資本やAIに対して、適正なバランスで適正な収益性を確保しながら継続的に投資を行っていく考えです。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上収益に関しては、ロケーションベースドエンターテインメント事業領域のフードエンターテインメント事業において減収となったものの、マーケティング事業領域のプロモーション事業および流通エンタメ事業が好調に推移したことにより、全体としては前年同期比で増収となりました。営業利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益に関しては、収益性の改善により売上総利益が増加したことに加え、販売費及び一般管理費が減少したことにより、前年同期比で増益となりました。中期経営方針に基づくグループシナジーおよび収益力強化に向けた各種施策の取り組みが、着実に成果として現れてきております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上収益は8,311百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は152百万円（前年同期営業損失299百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は128百万円（前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失190百万円）となりました。

当社グループは、当第1四半期より、ガバナンスの強化および経営効率の向上のため、当社およびグループ各社の役員・執行役員体制を見直しております。引き続きグループ経営体制の強化を図り、中期経営方針を着実に遂行してまいります。

（注1）「エクスペリエンス」と「エンターテインメント」を掛け合わせた造語で、エンタメ顧客体験価値のこと

（注2）プロモーション&マーチャンダイジングサービスの略語で、販促と物販を掛け合わせたサービスのこと

（注3）期間限定・場所限定・商品限定のコト需要とコト消費を創り出す流通サービスのこと

（注4）IPコンテンツを活用したカフェ空間、オリジナルメニューや限定グッズなどを通じて体験価値を提供するサービスのこと

（注5）特定の物理的な場所で提供されるインタラクティブで没入感のあるエンターテインメント体験のこと

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて2,733百万円減少し、21,951百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が増加したものの、営業債権及びその他の債権が減少したことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて2,640百万円減少し、14,127百万円となりました。これは主に、借入金、リース負債および営業債務及びその他の債務が減少したことによるものです。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末と比べて93百万円減少し、7,824百万円となりまし

た。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ1,340百万円増加し5,717百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,832百万円(前期は3,003百万円の収入)となりました。これは主として法人所得税の支払額763百万円および営業債務及びその他の債務の減少677百万円による資金の支出があったものの、営業債権及びその他の債権の減少3,903百万円および減価償却費及び償却費280百万円による資金の収入があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は147百万円(前期は324百万円の支出)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出40百万円およびその他の金融資産の取得による支出25百万円の資金の支出があったものの、その他の金融資産の売却及び償還による収入214百万円の資金の収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は1,650百万円(前期は229百万円の支出)となりました。これは主として短期借入金の減少1,000百万円、長期借入金の返済による支出282百万円、配当金の支払額188百万円およびリース負債の返済による支出179百万円の資金の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,376,712	5,717,349
営業債権及びその他の債権	11,012,532	7,113,960
棚卸資産	1,509,172	1,719,321
その他の金融資産	390,156	213,052
その他の流動資産	495,209	570,774
流動資産合計	17,783,784	15,334,457
非流動資産		
有形固定資産	849,887	873,599
使用権資産	2,161,735	2,080,647
のれん	614,765	614,765
無形資産	989,225	934,747
その他の金融資産	1,423,404	1,258,704
繰延税金資産	851,368	844,355
その他の非流動資産	10,752	10,251
非流動資産合計	6,901,140	6,617,072
資産合計	24,684,924	21,951,529

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,513,621	3,826,544
借入金	2,936,422	1,979,440
リース負債	647,704	655,014
未払法人所得税	774,135	65,302
その他の流動負債	1,222,252	1,307,422
流動負債合計	10,094,134	7,833,724
非流動負債		
借入金	4,042,600	3,717,300
リース負債	1,515,926	1,407,882
退職給付に係る負債	530,738	533,406
引当金	126,681	126,072
繰延税金負債	257,023	235,000
その他の非流動負債	200,040	273,665
非流動負債合計	6,673,010	6,293,327
負債合計	16,767,145	14,127,051
資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	6,495	8,567
利益剰余金	8,100,999	7,966,322
自己株式	△723,862	△723,940
その他の資本の構成要素	108,232	210,803
親会社の所有者に帰属する 持分合計	7,841,864	7,811,752
非支配持分	75,914	12,725
資本合計	7,917,779	7,824,478
負債及び資本合計	24,684,924	21,951,529

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	7,702,034	8,311,009
売上原価	△5,302,198	△5,523,116
売上総利益	2,399,836	2,787,892
販売費及び一般管理費	△2,735,333	△2,651,150
その他の収益	45,622	30,371
その他の費用	△9,752	△14,185
営業利益又は損失(△)	△299,627	152,927
金融収益	3,387	5,050
金融費用	△15,446	△35,190
税引前四半期利益又は損失(△)	△311,686	122,786
法人所得税費用	91,088	△56,996
四半期利益又は損失(△)	△220,598	65,790
四半期利益又は損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△190,981	128,980
非支配持分	△29,617	△63,189
四半期利益又は損失(△)	△220,598	65,790
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△17.52	12.02
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△17.52	12.01

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期利益又は損失(△)	△220,598	65,790
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△1,488	8,412
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	62,675	8,457
項目合計	61,187	16,870
純損益にその後振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△24,281	14,437
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△2,262	813
項目合計	△26,543	15,250
その他の包括利益合計	34,643	32,120
四半期包括利益	△185,954	97,911
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△156,337	161,101
非支配持分	△29,617	△63,189
四半期包括利益	△185,954	97,911

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	確定給付制 度の再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る資本性金 融資産
2025年1月1日 残高	350,000	—	7,422,921	△582,085	—	△10,116
四半期損失 (△)	—	—	△190,981	—	—	—
その他の包括利 益	—	—	—	—	△1,488	62,675
四半期包括利益	—	—	△190,981	—	△1,488	62,675
自己株式の取得	—	—	—	△559	—	—
自己株式の処分	—	△4	—	25	—	—
配当金	—	—	△54,502	—	—	—
株式報酬	—	2,773	—	—	—	—
利益剰余金への 振替	—	—	38,908	—	1,488	△40,396
所有者との取引額 等合計	—	2,769	△15,594	△534	1,488	△40,396
2025年3月31日 残高	350,000	2,769	7,216,346	△582,620	—	12,163

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素		
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計	合計	非支配 持分	資本合計
2025年1月1日 残高	105,560	4,845	100,289	7,291,124	121,881	7,413,006
四半期損失 (△)	—	—	—	△190,981	△29,617	△220,598
その他の包括利 益	△24,281	△2,262	34,643	34,643	—	34,643
四半期包括利益	△24,281	△2,262	34,643	△156,337	△29,617	△185,954
自己株式の取得	—	—	—	△559	—	△559
自己株式の処分	—	—	—	21	—	21
配当金	—	—	—	△54,502	—	△54,502
株式報酬	—	—	—	2,773	—	2,773
利益剰余金への 振替	—	—	△38,908	—	—	—
所有者との取引額 等合計	—	—	△38,908	△52,266	—	△52,266
2025年3月31日 残高	81,279	2,582	96,025	7,082,520	92,263	7,174,784

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	確定給付制 度の再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る資本性金 融資産
2026年1月1日 残高	350,000	6,495	8,100,999	△723,862	—	△25,655
四半期利益	—	—	128,980	—	—	—
その他の包括利 益	—	—	—	—	8,412	8,457
四半期包括利益	—	—	128,980	—	8,412	8,457
自己株式の取得	—	—	—	△77	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△193,206	—	—	—
株式報酬	—	2,071	—	—	—	—
利益剰余金への 振替	—	—	△70,449	—	△8,412	78,862
所有者との取引額 等合計	—	2,071	△263,656	△77	△8,412	78,862
2026年3月31日 残高	350,000	8,567	7,966,322	△723,940	—	61,665

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計	合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計	合計		
2026年1月1日 残高	129,737	4,149	108,232	7,841,864	75,914	7,917,779
四半期利益	—	—	—	128,980	△63,189	65,790
その他の包括利 益	14,437	813	32,120	32,120	—	32,120
四半期包括利益	14,437	813	32,120	161,101	△63,189	97,911
自己株式の取得	—	—	—	△77	—	△77
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△193,206	—	△193,206
株式報酬	—	—	—	2,071	—	2,071
利益剰余金への 振替	—	—	70,449	—	—	—
所有者との取引額 等合計	—	—	70,449	△191,212	—	△191,212
2026年3月31日 残高	144,174	4,962	210,803	7,811,752	12,725	7,824,478

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は損失(△)	△311,686	122,786
減価償却費及び償却費	351,672	280,730
金融収益及び金融費用	12,058	30,430
棚卸資産の増減額(△は増加)	△259,076	△208,033
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	3,808,711	3,903,782
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△815,327	△677,494
前受金の増減額(△は減少)	155,418	7,264
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,081	2,667
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,704	△85,343
未払賞与の増減額(△は減少)	179,929	154,191
その他の増減額	128,149	96,001
小計	3,289,472	3,626,985
配当金の受取額	2,678	5,049
利息の支払額	△15,446	△35,190
法人所得税の支払額	△273,197	△763,670
その他	△316	△708
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,003,190	2,832,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104,534	△40,352
無形資産の取得による支出	△57,389	△1,500
その他の金融資産の取得による支出	△237,439	△25,483
その他の金融資産の売却及び償還による収入	74,310	214,924
その他	396	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△324,656	147,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,437,725	△1,000,000
長期借入金の返済による支出	△97,415	△282,282
リース負債の返済による支出	△222,779	△179,370
自己株式の取得による支出	△559	△77
自己株式の売却による収入	21	—
長期借入による収入	4,584,000	—
配当金の支払額	△54,564	△188,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,022	△1,650,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,977	10,632
現金及び現金同等物の増加額	2,429,533	1,340,636
現金及び現金同等物の期首残高	4,756,730	4,376,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,186,263	5,717,349

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、マーケティングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。